

平成17年2月14日

各位

クリングルファーマ株式会社
代表取締役社長 岩谷 邦夫
ガレニサーチ株式会社
代表取締役社長 小川 泰亮

クリングルファーマ株式会社とガレニサーチ株式会社は、NK4, HGFおよびその関連化合物の徐放性微粒子製剤を開発するための研究評価契約を締結しました。

タンパク性薬物としてNK4, 肝細胞増殖因子(HGF)およびHGF関連化合物を開発しているクリングルファーマ株式会社(本社:豊中市新千里東町 1-5-3 千里朝日阪急ビル 8F、代表取締役社長:岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」)とタンパク性薬物の徐放システムを開発しているガレニサーチ株式会社(本社:川崎市川崎区南渡田町 1-1、代表取締役:小川泰亮、以下「ガレニサーチ」)は、NK4, HGFおよびその関連化合物の徐放性注射剤を開発するための研究評価契約を締結しました。

ガレニサーチの徐放化技術を適用することによって、クリングルファーマのもつNK4, HGFなどの医薬品開発が促進されます。

契約の内容

クリングルファーマは、タンパク性薬物であるNK4, HGFおよびその関連化合物の供給とガレニサーチによって調製された徐放性製剤の動物モデルによる薬効の確認を行います。一方、ガレニサーチは、提供されたNK4, HGFおよびその関連化合物の徐放性製剤の開発検討と徐放性の確認を行います。さらに、両社で予備的な毒性の確認を行い、得られた情報をもとに大手製薬企業に技術ライセンスする予定です。

NK4について

NK4はHGFのアンタゴニストであり、腫瘍の浸潤・転移抑制作用を持つことに加えて、強力な血管新生阻害作用を持ち、次世代の抗腫瘍薬としてクリングルファーマが医薬品開発しています。血管新生阻害剤の概念は、米国のフォルクマン教授らによって提唱され、次世代抗腫瘍薬研究の世界的な大テーマとなっています。NK4のユニークな点は、HGFのみならず血管内皮細

胞増殖因子 (VEGF) や塩基性線維芽細胞増殖因子 (bFGF) といった複数の血管新生因子を阻害することです。また、NK4 は、元来 HGF の分子内断片として生体内に存在するタンパク質であり、副作用もほとんどないと考えられています。

HGF について

HGF は、成熟肝細胞の増殖促進因子として大阪大学の中村教授らによって発見、単離、クローニングされました。その後の研究から、肝細胞のみならず様々な細胞に対して増殖促進、運動促進、抗アポトーシス、形態形成誘導、血管新生など組織・臓器の再生と保護を担う多彩な生理活性を持つことが明らかになりました。とりわけ、肝硬変、慢性腎不全、肺線維症、心筋症などの慢性線維性疾患に対して、HGF が強力な治癒効果を持つことが疾患モデル動物を用いた実験で証明されました。これらの慢性線維性疾患は根本的な治療法のない難治性疾患であり、クリングルファーマは、HGF タンパク質を再生治療薬として開発しています。

ガレニサーチの徐放性製剤技術

この技術は生体内消失性の多孔性ヒドロキシアパタイトを利用したタンパク質の長期間徐放化技術であり、多孔性ヒドロキシアパタイト中にタンパク性薬物を封じ込め、そこから、数週間にわたりタンパク性薬物を一定速度で放出するものです。この技術により 1 回の注射で作用が数週間から 1 ヶ月ほど持続し、月に 1 ~ 2 回の注射で連日注射と同じ効果が得られると期待できます。現在、ヒト成長ホルモンや新しいタンパク性薬物へ利用する研究が進んでいます。

クリングルファーマ株式会社の概要

主な事業の内容： NK4 タンパク質 / 遺伝子を制癌剤・血管新生阻害剤とするための研究開発
HGF タンパク質を再生治療薬とするための研究開発

設立： 2001 年 12 月 21 日

本社所在地： 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-5-3 千里朝日阪急ビル 8F

代表者： 代表取締役社長 岩谷 邦夫

資本金： 2 億円

従業員数： 10 名

問合せ先： 取締役・研究開発部長 安達 喜一

TEL： 06-6831-3330

FAX： 06-6831-3430

E-mail： info@kringle-pharma.com

ガレニサーチ株式会社の概要

主な事業の内容： ドラッグデリバリー技術に基づいた創薬研究。コア技術はタンパク製薬物の徐放性注射剤

設立: 2004年10月1日
本社所在地: 〒210-0855 川崎市川崎区南渡田町1-1
代表者: 代表取締役 小川 泰亮
資本金: 3,145万円
従業員数: 9名
問合せ先: 取締役 藤井 隆雄
TEL: 044-329-1290
FAX: 044-329-1291
E-mail: info@galenisearch.com